

第2次みよし市総合計画策定に伴う
地区まちづくり懇談会資料



※ロゴマークについて
みよし市では、市民、関係機関、行政が一体
となって、シティプロモーションを進めるた
めに、まちの魅力をPR するロゴマークを作
成しました。

みよし市

平成29年6月18日、7月1日、7月2日、7月15日、7月16日

目次

1. 第2次みよし市総合計画について

(1) 総合計画ってなに？	1
(2) なぜ新しい総合計画が必要なの？	2
(3) 新しい総合計画はどういう視点で作るの？	3
(4) 新しい総合計画の計画期間は？	4
(5) 新しい総合計画の計画作成の進め方は？	5
(6) 今後のスケジュール	6

2. みよし市の現状について

(1) みよし市の現状を知ることからスタート	7
(2) みよし市の強み	8
(3) みよし市の弱み	9
(4) みよし市を取り巻くチャンス	10
(5) みよし市を取り巻く脅威	11

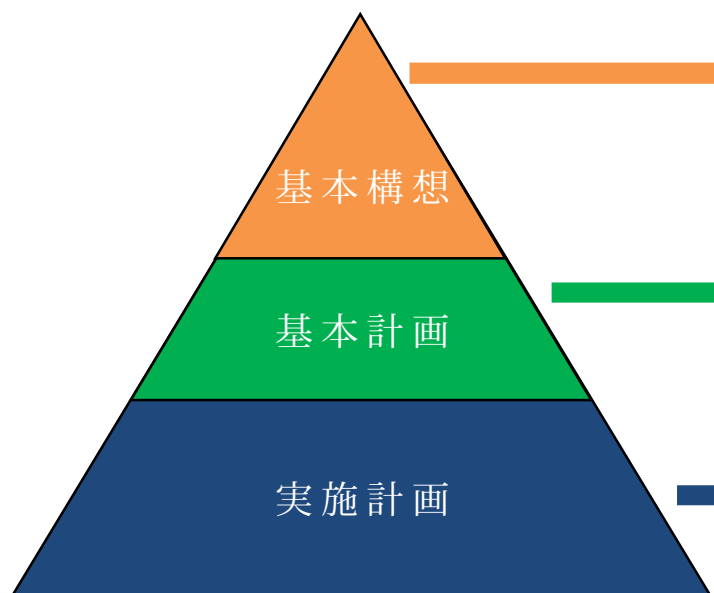
3. 現行のみよし市総合計画について

(1) 将来像及び基本目標について	12
(2) 地区別構想について	13

(1) 総合計画ってなに？

これからのみよし市をどのようなまちにしていくか、という市にとって
「まちづくり」の基本となる重要な計画

みよし市総合計画の構成



●「基本構想」「基本計画」「実施計画」の三層で構成されています。

●基本構想で、みよし市が目指す「まちの将来像」を決め、その実現のための基本目標を掲げて、その達成に向けて、土地利用構想・地区別構想等を設定します。

●基本計画では、基本構想で掲げた将来像を実現するために、産業や福祉、環境など幅広い分野で根幹的な施策を示しています。

●実施計画では、基本計画に示された施策の実施内容を具体化しています。

1. 第2次みよし市総合計画について

(2) なぜ新しい総合計画が必要なの？

2010（平成22）年 市制施行・みよし市総合計画策定

見直しの時期の到来

現行のみよし市総合計画の基本計画が2018（平成30）年度に目標年次を迎える

社会情勢の変化

- 人口減少社会
- 少子高齢化
- 財政制約、国際競争の激化
- 気象災害の頻発・激甚化
- 情報化の進展
- 市民の価値観の変化
- ライフスタイルの多様化
- 近隣市町の大型商業施設等の開発の進展
- 2027（平成39）年のリニア中央新幹線開業などによる人・モノの動きの変化

こうした状況の変化に対応するためには、

新しい総合計画（第2次みよし市総合計画）が必要

1. 第2次みよし市総合計画について

(3) 新しい総合計画はどういう視点で作るの？

次の考え方に基づいて、第2次みよし市総合計画を作っていきます。

将来的な人口減少や超高齢社会を見据えた計画にします

人口減少による経済への影響が現れてからその構造を変え歯止めをかけるのではなく、将来的な人口減少や超高齢社会を見据えた対策が重要であることを認識し、将来にわたって市民が幸せに、安全・安心に暮らせる活力のあるまちづくりを目指した計画を策定します。

協働のまちづくりをさらに進める計画にします

総合計画は、本市の市政運営の指針であるとともに、市民、事業者、市民活動団体等のまちづくり活動の指針となるものです。このため、各主体に期待される役割を明確にし、協働のまちづくりを促進する計画とします。

市民にとって分かりやすい計画にします

本市がめざす将来像や取り組みの方向性、目標などを各主体が共有できるよう、市民の目線に立って、より分かりやすい計画とします。

(4) 新しい総合計画の計画期間は？

- 基本構想** 計画期間：2019（平成31）年度～ 2038（平成50）年度（20年間）
- 基本計画** 計画期間：2019（平成31）年度～ 2028（平成40）年度（10年間）
- 実施計画** 計画期間：3年間（毎年度見直しをします。）

年度	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
基本構想	20年間																			
基本計画	10年間（中間年で見直し）																			
実施計画	3年間																			
		3年間																		
			3年間		…															

(5) 新しい総合計画の計画作成の進め方は？

市民の皆さんとともに、計画づくりを進めていきます。

～市民参画の機会～

本日

総合計画審議会 (H29～30)

- 学識経験者や市民の代表で構成
- 市長が諮問する総合計画案に対し、調査審議し答申

地区まちづくり懇談会 (H29)

- 今後のまちづくりについて意見等を聴取

市民意向調査 (H28)

- ①市民アンケート：本市が進めている施策に対する満足度、重要度、市の将来像などについての意見把握
- ②中学生アンケート：将来を担う若い世代のまちづくりへの関心を高めるとともに、意見把握

まちづくりシンポジウム (H30)

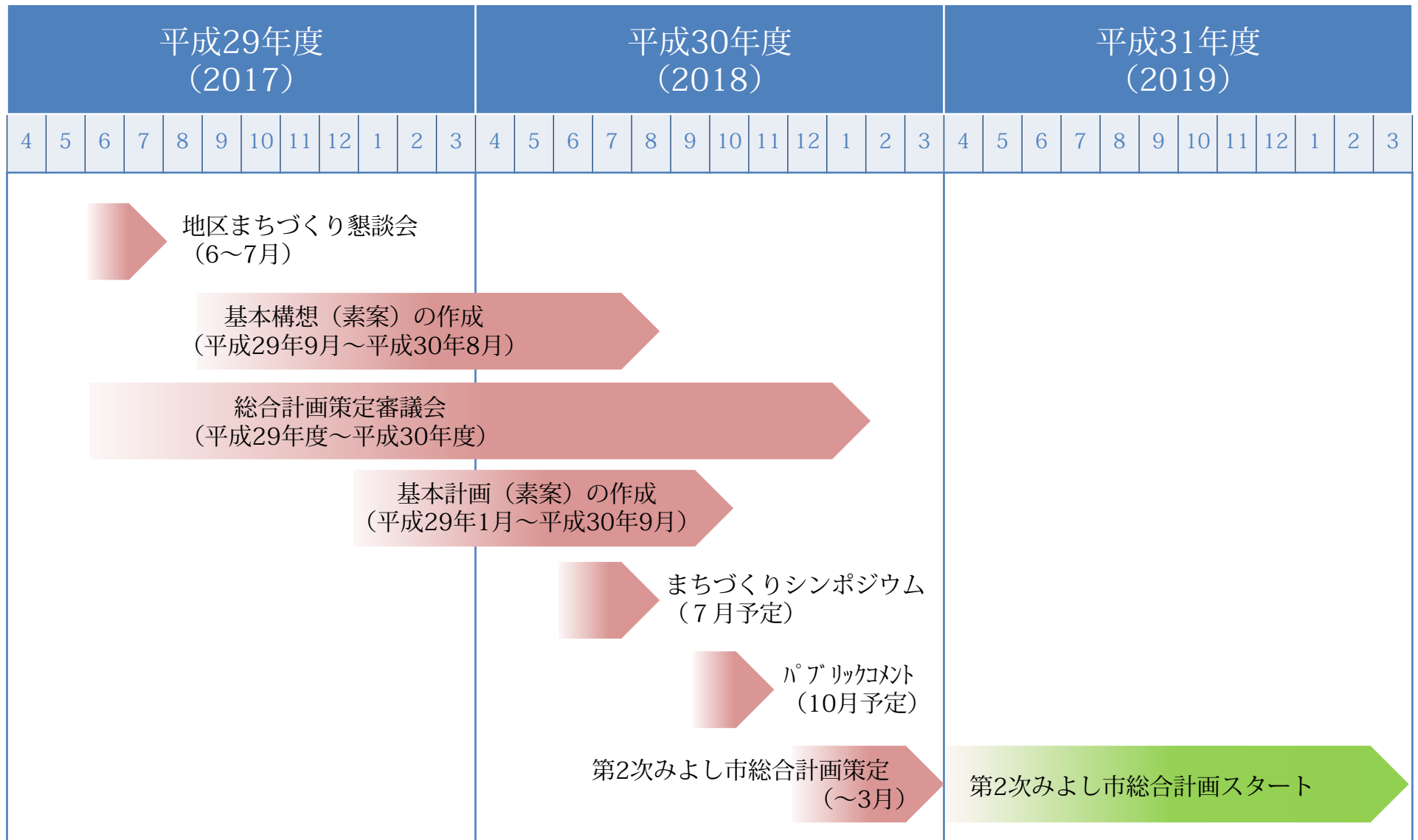
- 基本構想（素案）の内容を説明し、意見等を聴取

パブリックコメント (H30)

- 総合計画（案）に対する意見を幅広く聴取

1. 第2次みよし市総合計画について

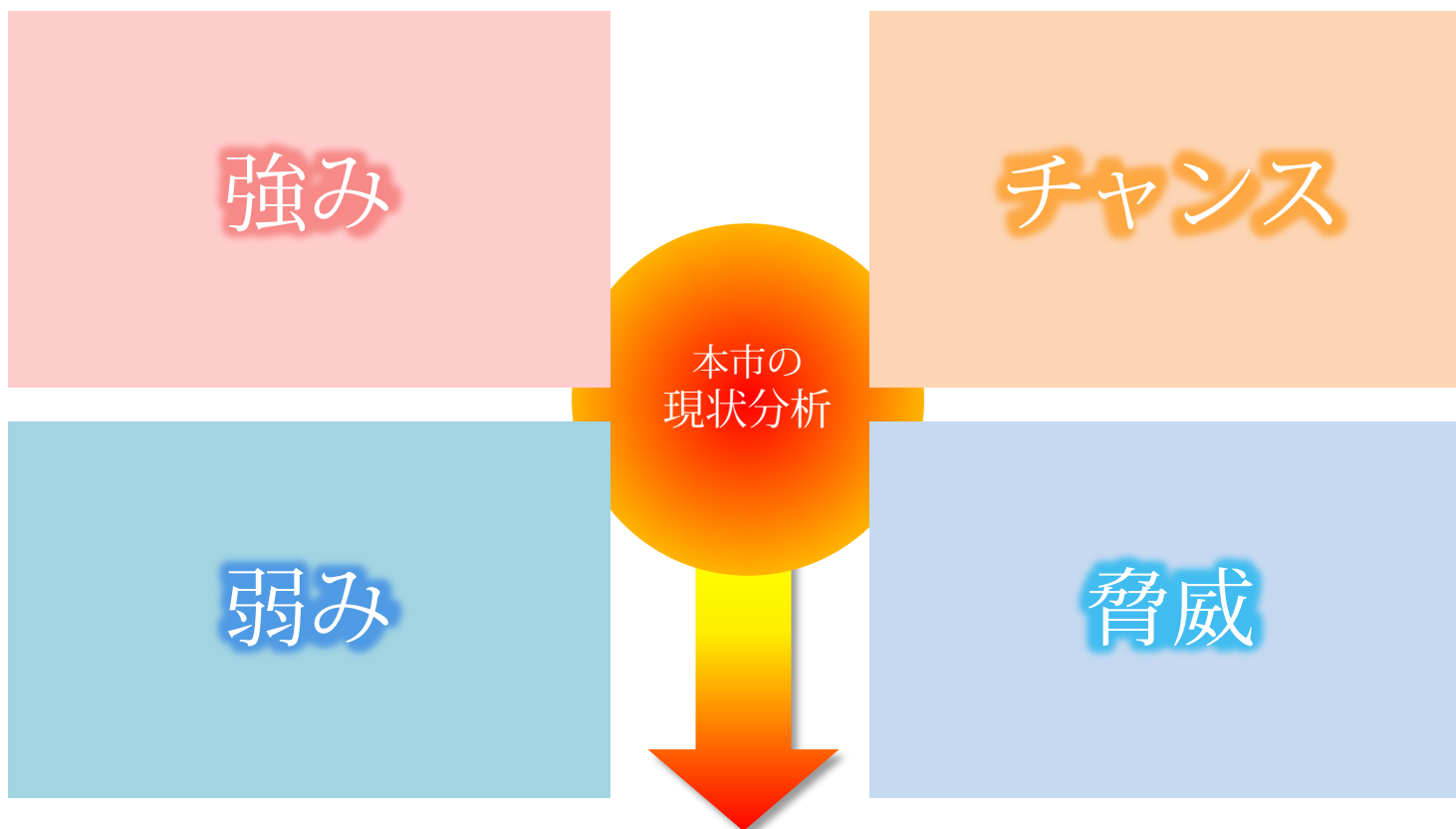
(6) 今後のスケジュール



2. みよし市の現状について

(1) みよし市の現状を知ることからスタート

統計データの分析結果や市民・中学生アンケート調査結果、職員ニーズ調査結果等をもとに、本市の強み、弱み、本市を取り巻くチャンス、脅威という視点から現状を分析して、市民の皆さんとともに、これからのまちづくりを考えていきます。



今後20年のまちづくりをどのように描いていくかを考えていきます。

2. みよし市の現状について

(2) みよし市の強み

- 今後も続く人口増加傾向⇒2045（平成57）年まで人口増加予測（みよし市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンより）
- 若い人口構成、高い合計特殊出生率⇒年少人口比率は約2割、合計特殊出生率は1.81で近隣都市の中で上位
- 地域コミュニティ力が高い⇒「優しい・親切・挨拶や地域活動が活発」が市の強み（市民・中学生アンケート結果等）
- 全国上位にランキングする本市の「住みよさ」⇒住みよさランキングは全国15位（都市データパック2016年版より）
- 自然が豊か⇒自然が豊かであることは市の強み（市民・中学生アンケート結果等）
- 都市公園・道路網の充実⇒人口1万人あたりの都市公園面積は近隣都市の中で上位
- 安定した市の財政基盤⇒自主財源率が83.1%と高く、近隣都市の中でも高い
- 完全失業率の低さ等に象徴される優れた雇用環境⇒「働く場所が多い」と感じる市民が多数（市民アンケート結果）
- 高い生産性を誇る製造業⇒第2次産業の割合が特に高い、中でも輸送用機械器具製造業が占める割合が高い
- 立地条件の良さ⇒名古屋市・豊田市の中間に位置、愛知県の中心部に位置
- 市の規模がコンパクト⇒市全体がまとまりやすいというメリット
- 自然災害が少ない⇒自然災害が少ないことは市の強み（市民アンケート結果等）

強み

(3) みよし市の弱み

- 将来迎える少子高齢化
⇒現在の人口構成比で最多の40歳代半ばの市民が、20年後には60歳代半ばとなり社会の第一線を退く
- 交通の利便性の低さ（市内交通が脆弱）⇒市民の多くが市の弱みとして認識（市民・中学生アンケート結果等）
- 買い物や外食の利便性の低さ⇒市民の多くが市の弱みとして認識（市民・中学生アンケート結果等）
- 生活利便性に対する市民満足度に地域差が生じている⇒交通や買物・外食の利便性等で満足度に差が生じている
- 観光資源の少なさ、シンボル・特徴がない⇒観光入込客数は近隣都市の中で少ない
- 自動車産業への依存⇒産業は「輸送用機械器具製造業」に特化
- 農地や田畑の減少、農業の低迷⇒宅地面積が大きく増加し田畑は減少、農家数も縮小傾向
- 交通事故や犯罪率の多さ⇒交通事故及び犯罪率（刑法犯認知件数）の高さは、近隣都市の中で上位
- 人口あたり医師数の少なさ⇒人口1万人あたりの医師数は8.9人で近隣都市の中でも低い
- 公共施設が抱える諸問題の顕在化⇒公共施設の老朽化問題、公共施設の駐車場不足など
- 行政対応力の低さ⇒市民の多くが市の弱みとして認識（市民・中学生アンケート結果等）
- 居住年数の短い市民のまちづくり活動の参加率が低い
⇒居住年数5年以上の参加率が約8割に対し、5年未満では約5割にとどまる

弱み

(4) みよし市を取り巻くチャンス

●2027年リニア中央新幹線東京・名古屋間開業などによる人・モノの流れの変化
⇒広域エリアでの求心力の強化が期待される

●環境産業の市場・雇用規模が拡大
⇒近年、再生可能エネルギー分野をはじめとして成長しつつある環境産業の市場規模・雇用規模は年々拡大傾向にある

●アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区
⇒派生的に産業振興や道路ネットワーク整備等が進むことが期待される

●2026年アジア競技大会・カヌー競技
⇒保田ヶ池が競技会場として想定されており、来訪者数の増加が期待される

チャンス

(5) みよし市を取り巻く脅威

- 全国的に進む人口減少と少子高齢化

⇒これに伴い、医療・介護需要の増大や地域の活力低下、地方の疲弊などが危惧される

- 頻発・激甚化する気象災害（水害・土砂災害等）

⇒極端な雨の降り方が顕在化している（時間雨量50ミリ以上の発生件数が約30年間で約1.4倍）

- 切迫する南海トラフ巨大地震

⇒南海トラフ巨大地震（M8～9クラス）の30年以内発生確率は70%と予想されており、巨大災害の切迫への対応が課題となっている（国土交通省「国土のグランドデザイン2050」より）

- 近隣市町における様々な開発の進行

⇒道の駅や大規模商業施設等、近隣市町における開発が進みつつある

脅威



「強み」を伸ばし、「弱み」を克服し、「チャンス」を生かし、「脅威」に備える。
本市の現状を分析・把握した結果を、将来のまちづくりに生かしていきたいと考えています。

3. 現行のみよし市総合計画について

(1) 将来像及び基本目標について

市のめざす
将来像

みんなで築く「ささえあい」と「活力」の都市^{まち}

環境

I 人と自然が共生する心地よい環境

水と緑の自然を大切に、人と自然が共生できるみよらしい循環型社会を目指します。

暮らし

II 誰もが健康で生きがいのある暮らし

思いやりとふれあいの中で、誰もが生涯を通して生きがいを持って健康に暮らせるまちを目指します。

安全
安心

III 安全で安心して住み続けることができる地域

地域力を高めて、災害や犯罪・事故を防ぎ、誰もが安全で安心して住み続けることができる地域を目指します。

魅力

IV 魅力ある活力とにぎわいのまち

みよしの歴史文化や社会資源を活かしながら、愛着と誇りを持てる新しい魅力を創り培い、いきいきとしたにぎわいのあるまちを目指します。

人育て

V 社会と次代を担う自立した人材の育成

心身ともに健やかで、個性豊かで社会性のある子どもたちを育て、一人ひとりが地域社会や各分野で活躍できるまちを目指します。

協働
推進

VI 市民と行政の協働による自立した自治体経営

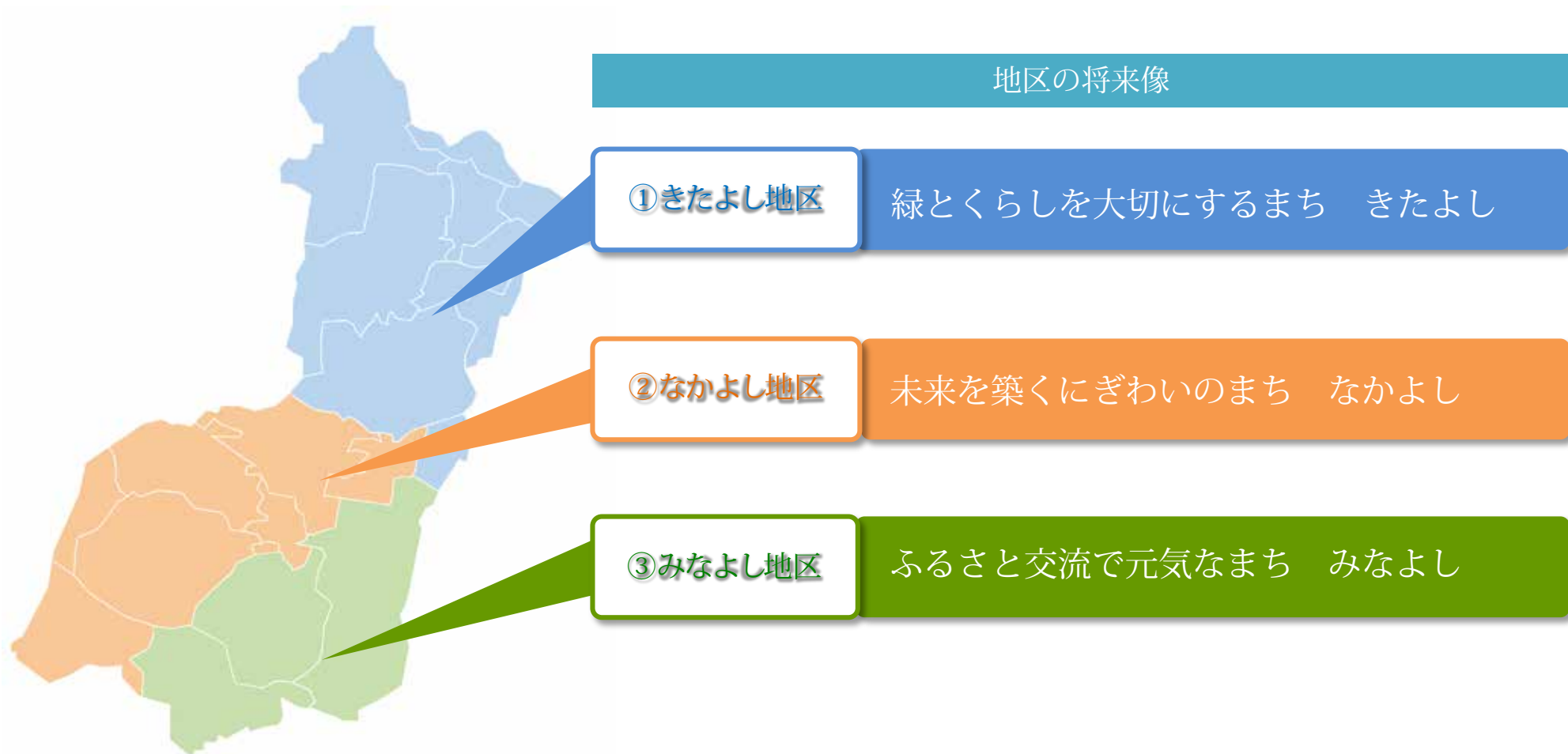
市民と行政の協働により、わかりやすく、効果的な行財政運営を効率的に行うことを目指します。

基本目標

3. 現行のみよし市総合計画について

(2) 地区別構想について

総合計画では、みよし市を「きたよし地区」、「なかよし地区」、「みなよし地区」の3地区に区分し、各地区の将来像を掲げています。



■まちづくり構想

整備された良好な居住環境と地域力

- 計画的に整備された良好な居住環境が維持されるまち
- 鉄道駅の利便性を生かし、歩いて暮らせるコンパクトなまち など

周辺環境に調和した居住環境

- 周辺の土地利用と調和し、駅への利便性を生かした都市郊外型の居住地や生活環境が整った集落が形成されたまち

交通の結節点

- 暮らしを支える生活機能が充実し、人々が交流する活気ある交通結節点機能が形成されたまち
- 東名三好インター周辺などにおいて、付加価値の高い産業集積と住環境が整ったまち

里山を活かした芸術・文化・教育機能

- 里山に市民と自然とのふれあいの場が設置され、環境教育や生涯学習ができるまち
- 森のアートとして、自然素材を活かした芸術の創造や活動拠点のあるまち など

■まちづくり構想

「みよしの顔」にふさわしい都心中心拠点

- ・ユニバーサルデザインが導入され、公共施設が機能的に配置されたまち
- ・土地区画整理事業が推進され、住環境が整ったまち など

居住機能

- ・文化的で快適な暮らしができる良好な住宅地が形成されたまち など

水と緑を活かした遊歩道のネットワーク

- ・水と緑に恵まれた三好公園を核として、境川を軸とした水系やまちのアートを結ぶ安全で安心な水と緑のネットワークがあるまち

農業生産基盤

- ・やりがいのある農業経営をすすめるため、働きやすく、安全で快適な生産基盤が整備されたまち

世界に向けた地場産業

- ・基幹産業である自動車関連産業を中心に、地場産業の一層の高度化・付加価値化を支援するとともに、新たな生産物流機能が整備されたまち

■まちづくり構想

田園型居住機能

- ・既存集落との調和を図りながら、比較的広い区画を確保した多世代居住が可能な田園型居住地が整備されたまち など

「農」を活かしたいきがい・交流機能

- ・都市近郊の体験型農業施設「さんさんの郷」を充実させ、退職後や子育て後の人たちにも新たな生きがいとなる「農」のある生活を提案するまち など

世界に向けた地場産業

- ・基幹産業である自動車関連産業を中心に、地場産業の一層の高度化・付加価値化を支援するとともに、新たな生産物流機能が整備されたまち

優良農地・果樹園の保全

- ・優良農地の集約化を図り、地域の特徴を活かした果実（かき・なし・ぶどう）や野菜、花卉などの農産物の高品質化をすすめ、やりがいのある農業経営ができるまち など

水と緑の保全

- ・水に恵まれた細口公園を核として、茶屋川を軸とした緑のネットワークの形成と田園空間が調和されたまち

市や地区を将来どのようなまちにしていきたいか、ご意見をお聞かせください。